

巻 頭 言



岐阜県知事 古田 肇

アフターコロナを見据えた岐阜県づくり

岐阜県では、2009年から「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」として、アジアを皮切りに、欧州、米国、豪州と対象を順に広げながら、「観光・食・モノ」を三位一体で売り込む海外プロモーションを展開してきました。

こうした取り組みの結果、2019年の外国人延べ宿泊者数は約166万人に達し、プロジェクト開始2009年の約15万人から大幅な増加となりました。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンドは深刻な状況にありますが、本県では、数年前から次なるステージとして、「サステナブル・ツーリズム」に着目し、その取り組みを本格化させています。

幸い本県には、豊かな自然のもと、先人から受け継がれてきた伝統・文化・匠の技が、長い時を超えて人々の暮らしの中に息づいており、作り物ではない「本物」が多々存在しております。それを岐阜県の強みとして、ブランディングしていく取り組みです。行政だけが進めるのではなく、県民や事業者がこれらの強みを自覚し、一体となって進めていくことで、持続可能な好循環を生み出す取り組みです。

具体的には、SDGsの理念を踏まえた海外誘客向けの着地型コンテンツの造成や、専門用語を語れる外国語観光ガイドの育成、さらには外国語ウェブサイトを活用したデジタルマーケティングによる海外誘客の強化などの取り組みを開始しております。

コロナ禍においてデジタル化の加速度的に増えておりますが、本県では、2020年、外国人目線で制作した岐阜県プロモーション動画「Timeless Japan GIFU」をYouTubeで配信したところ、その再生回数が1千万回を超えるなど、想像以上の大きな手ごたえを感じているところです。加えて、こうしたサイトへのアクセスについて、マーケティング分析を行い、今後の戦略につなげていく取り組みも進めています。

また、国際交流の分野においては、リトアニア、フランス、中国、モロッコ、ベトナムなどと持続的な人と人との関係づくりを進めてきたところです。そうした中、新たな交流の在り方の一例として、「岐阜愛」をキーワードに、世界各地に存在する24の岐阜県人会が集結し、グローバルな組織「岐阜県人会インターナショナル」が設立され、2021年5月にオンラインで設立総会が開催されました。世界の最前線で活躍される有志の皆様が、世界各地で岐阜の魅力発信に努めていただけることとなり、私どもとしても心強いパートナーとして期待しているところです。

こうした多面的な取り組みを通して、アフターコロナ社会においても、国内外から「選ばれる岐阜(GIFU)」を目指して参りたいと考えています。